令和３年２月５日

松阪市議会

議長　西村　友志 様

報告者

広報広聴委員会

委員長　松岡　恒雄

オ　ン　ラ　イ　ン　行　政　視　察　報　告　書

標記の件について、下記のとおりオンラインによる行政視察を行いましたので、その内容等を報告します。

記

１．開催日時　　令和３年１月２６日（火）午後２時から午後３時２９分

２．相手先　　兵庫県丹波篠山市

３．開催場所　松阪市議会第１・２委員会室及び丹波篠山市役所 301 会議室

４．参加委員　　委員長　松岡　恒雄、副委員長　坂口　秀夫（副議長）

橘　　大介、中村　誠、赤塚　かおり、

殿村　峰代、沖　和哉、野呂　一男（欠席）海住　恒幸

西村　友志（議長）

５．報告書作成　　松岡　恒雄（委員長）、橘　大介

６．報告書提出　　松岡　恒雄（委員長）

７．視察項目

Ⅰ．兵庫県丹波篠山市　令和３年１月２６日（火）

１）オンライン議会報告会について

１．丹波篠山市の概要

⑴市域面積：377.59 平方キロメートル

⑵人口　　40,825 人　17,531 世帯

⑶特徴：丹波篠山市（たんばささやまし）は、兵庫県中東部に位置する市。丹波県民局管轄区域。2019 年（令和元年）5 月 1 日より、市名が「篠山市（ささやまし）」から変更された。旧丹波国として古来京都への交通の要として栄えてきた歴史があり、町並みや祭りなどに京文化の影響を色濃く残している。また昭和後期から平成にかけ、市内西部を縦貫する JR 福知山線（宝塚線）の複線電化、舞鶴若狭自動車道（開通時は「舞鶴自動車道」）の開通により、大阪や阪神間へのアクセスは良くなっており、宝塚、伊丹へは片道 40〜50 分、大阪へは 1 時間程度といった通勤圏となっている。経済的には、県庁所在地の神戸市よりも、舞鶴や福知山をはじめとする北近畿経済圏、さらには大阪経済圏である。

▲広報広聴委員会による　オンライン視察

⑷対応者　丹波篠山市議会

森本　富夫　議長

小畠　政行　副議長

足立　義則　議会運営委員長

園田　依子　議会運営副委員長

中筋　吉洋　議会事務局長

和田　祥代　議会事務局主査

２．オンライン視察項目

⑴オンライン広報広聴強化の背景

新型コロナウイルス感染が拡大し、一旦収束の兆しが見えかけたものの、７月以降再び拡大。丹波市議会としては、感染防止の観点から蜜を避けることを考慮し、令和２年度の議会報告会については、会場に参集いただく形式の報告に代え、オンラインによる動画配信の報告会を実施する。

⑵オンライン議会報告会（ YouTube の配信）

①動画２６分（議員が報告）

◎議長あいさつ

◎新型コロナウイルス感染症対策について

◎条例制定、補正予算など（常任委員会別に報告）

◎今後の予定

◎副議長あいさつ

⑶動画視聴方法：丹波篠山市議会ホームページ（YouTube）

⑷アンケートの実施

（ｉ）市議会だより差し込み（FAX・議会事務局・支所等へ提出）

（ⅱ）WEB（市議会ホームページに掲載）

３．コロナ禍におけるオンライン議会報告会に至るまでの経過

▼R２．５．１ 議会報告会を 11 月に 19 会場で開催決定（改選のため）

▼R２．６．１８　班構成、第２部テーマ「新型コロナとくらし」を決定

▼R２．７．３１　報告会の中止を決定➡代替案を検討

▼R２．８．２７　中止による代替案決定

1. オンライン議会報告会
2. アンケート実施
3. 議長と語る会開催
4. 地区役員から要望・提言受付

▼R２．１０．１４

オンライン議会報告会動画撮影（委員会ごとに全議員出演）

▼R２．１０．２１

市議会の YouTube チャンネルにアップロードして配信

４．動画の配信方法について

▼動画の構成（シナリオ、カット割りなど）を作成

▼視聴覚ライブラリーに撮影を依頼

▼業務用ビデオカメラで撮影（ワイヤレスピンマイクを使用）

▼撮影した動画は、編集ソフトを使って編集

1. 余分な部分をカット
2. 説明用 PowerPoint のデータを写真データに変換し、説明部分を差し込み
3. 議員名などテロップを追加

完成動画を市議会の YouTube チャンネルにアップロードして配信

５．議員と事務局の役割分担について

議員

1. 動画制作（議会運営委員会正副委員長）
2. シナリオ作成
3. 動画撮影の指揮監督
4. 動画への出演

事務局

1. PowerPoint 等資料作成
2. 撮影した動画の編集

６．所感

全国的に見ても一早くオンライン議会を導入した丹波篠山市議会。背景として新型コロナウイルス感染が拡大し、一旦収束の兆しが見えかけたものの、７月以降再び拡大。感染防止の観点から蜜を避けることを考慮し、令和２年度の議会報告会については、会場に参集いただく形式の報告に代え、オンラインによる動画配信の報告会を実施した。

オンラインという形式で行うもののリアルで行う議会報告会と同様にアンケート受付をし、地域課題に関する意見・提言受付などを行った。

松阪市議会もこの春にオンライン議会報告会を初めて行う。心配されるのは、インターネットの環境に関する動画配信である。議員、事務局が役割分担を行い作成しているとのことであり、心配される事項はこの視察で調べることができた。春に開催予定のオンライン議会報告会に生かしていきたいと考える。